

新旧対照表 au カブコム証券

新文書	旧文書	備考	差分
上場投資信託等の重要事項	上場投資信託の重要事項		(略)
・ETF(<u>上場投資信託</u>)	・ETF(<u>株価指数連動型投資信託受益証券</u>)・ETN(<u>指標連動証券</u>)	ETN の項目を分離	<u>追加</u> <u>変更</u>
・ ETFは、原則として株価指数等の特定の指標や商品価格と連動することを目的に運用される投資信託ですが、該当する指標に連動するよう運用されるだけでなく、ETFでは、現物ポートフォリオを受け取る(交換)こと、現物ポートフォリオをもとにETFを受け取る(追加設定)ことも可能な商品となっており、両者の価格差を利用した活発な裁定取引等が行われ、該当する株価指数とETF市場価格の連動性が高くなる仕組みを有します。	・ ETF及びETNは、特定の株価指数や指標に連動することを目的に運用される投資信託ですが、該当する株価指数に連動するよう運用されるだけでなく、ETFでは、現物ポートフォリオを受け取る(交換)こと、現物ポートフォリオをもとにETFを受け取る(追加設定)ことも可能な商品となっており、両者の価格差を利用した活発な裁定取引等が行われ、該当する株価指数とETF市場価格の連動性が高くなる仕組みを有します。	表現変更	<u>変更</u>
・ ETFは原則として全資産を対象に、株式等をはじめとする有価証券で運用することになりますので、市場変動の影響を受けることとなり、組み入れた銘柄の値動き等により基準価額が上下するほか、市場需給などの様々な要因によって変動することとなります。また、投資対象国が海外となる場合には、対円の為替レートの変動によって市場価格は影響を受けることになります。取引量の少ない銘柄では、お客様ご自身のお取引により価格が変動することにも考慮が必要です。	・ ETF及びETNは原則として全資産を対象に、株式をはじめとする有価証券で運用することになりますので、市場変動の影響を受けることとなり、組み入れた銘柄の値動き等により基準価額が上下するほか、市場需給などの様々な要因によって変動することとなり、投資元本を割り込むことがあります。取引量の少ない銘柄は、お客様ご自身のお取引により価格が変動することにも考慮が必要です。	表現変更	<u>変更</u>
・ ETFのうち、連動対象となる指標が存在しないアクティブラボ用型ETFは、相場全体の変動からでは説明ができない値動きをしたり、投資成果がベンチマークを下回ったりする可能性があります。		アクティブラボ用型E T Fの記載を追加	<u>追加</u>
・ 組み入れた株式及び受益証券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。	・ また、組み入れた株式及び受益証券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。	表現変更	<u>削除</u>
・ ETFは投資元本及び分配金が保証されたものではありません。	・ ETF及びETNは投資元本を割り込むことがあります。元本及び分配金が保証されたものではありません。	表現変更	<u>削除</u>

新文書	旧文書	備考	差分
<ul style="list-style-type: none"> ETFには、レバレッジ型の運用形態を有する銘柄や市場の方向性とは性格を異なる指標に基づく運用を行う銘柄も存在します。お取引いただく際には、必ず各取引所が作成した「ETF概要」、「指数・指標の説明」、「ガイドブック」等をよくお読みください。 	<ul style="list-style-type: none"> ETF及びETNには、レバレッジ型の運用形態を有する銘柄や市場の方向性とは性格を異なる指標に基づく運用を行う銘柄も存在します。お取引いただく際には、必ず各取引所が作成した「ETF概要」、「指数・指標の説明」、「ガイドブック」等をよくお読みください。 <u>ETNはETFと異なり裏付けとなる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力を背景として発行される証券であることから、発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、ETNの価格が下落する又は無価値となる可能性があります</u>ので、こうした発行体の信用リスクについては十分に留意する必要があります。 <u>ETNは、価格が特定の指標に連動することを保証する債券(指数連動債)であり、償還期日を迎えると償還されます。また、指標値の急落等、一定の条件を満たすことにより早期償還される場合があります。詳細は、有価証券届出書等の法定開示書類にてご確認ください。</u> 	<p>ETNの項目を分離したことによる修正</p> <p>ETNの項目を分離したことによる修正</p> <p>ETNの項目を分離したことによる修正</p>	(略) 削除 削除 (略) 削除 (略) 変更
<p><u>ETN(上場投資証券)</u></p> <p><u>「上場廃止リスク」</u></p>	<p><u>ETF(商品価格連動型投資信託受益証券)</u></p>	<p>商品価格連動型投資信託受益証券の項目をETFに統合</p>	(略) 追加 (略)
<p><u>ETNは原則として、株価指数や商品価格等の特定の指標に連動する証券ですが、発行体となる金融機関の信用力を背景に特定の指標に連動することを保証</u></p>			ETNの項目を分離したことによる修正

新文書	旧文書	備考	差分
<p><u>する債券であるため、ETFと異なり裏付けとなる資産の保有を必要としません。発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、ETNの価格が下落する又は無価値となる可能性がありますので、発行体の信用リスクについては十分に留意する必要があります。</u></p>		とによる修正	
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ETNは原則として、全資産を対象に有価証券で運用することになりますので、需給等のさまざまな要因による市場変動の影響を受けることとなり、投資元本を割り込むことがあります。取引量の少ない銘柄は、お客様ご自身のお取引により価格が変動することにも考慮が必要です。</u> ・ <u>受益証券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。</u> ・ <u>ETNは元本及び分配金が保証されたものではありません。</u> ・ <u>ETNには、レバレッジ型の運用形態を有する銘柄や市場の方向性とは性格を異なる指標に基づく運用を行う銘柄も存在します。お取引いただく際には、必ず各取引所が作成した「ETN概要」、「指數・指標の説明」、「ガイドブック」等をよくお読みください。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>このETFは、商品価格連動目的発行有価証券を原則として高水準に組入れて運用し、基準価額が対象指標である金価格と高位に連動することを目指しますが、対象指標である商品価格と一致した推移をすることが保証されたものではありません。</u> ・ 原則として全資産を対象指標に連動する投資成果を目的として発行された有価証券のみ投資を行いますので、対象指標の変動の影響を受けることとなり、組み入れた有価証券の値動き等により基準価額が上下するほか、ETF市場の需給などの様々な要因によって変動することとなり、投資元本を割り込むことがあります。 ・ <u>ETFの発行体の財務内容・信用状況・外部評価等の変化により、価格が下落し損失を被ることがあります。また、投資対象国が海外となる場合には、対円の為替レートの変動によって市場価格は影響を受けることになります。</u> ・ <u>商品連動型投資信託受益証券は元本及び分配金が保証されたものではありません。</u> ・ お取引いただく際には、必ず各取引所が作成した「ETF概要」、「ガイドブック」等をよくお読みください。 	<p>ETN の項目を分離したことによる修正</p> <p>(略)</p> <p>ETN の項目を分離したことによる修正</p> <p>ETN の項目を分離したことによる修正</p> <p>ETN の項目を分離したことによる修正</p> <p>商品価格連動型投資信託受益証券の項目を ETF に統合</p> <p>(略)</p> <p>ETN の項目を分離したことによる修正</p>	<p>削除</p> <p>変更</p> <p>変更</p> <p>変更</p> <p>変更</p>

新文書	旧文書	備考	差分
「 <u>為替リスク</u> 」		リスク追加	(略) <u>追加</u>
「為替リスク」	「為替 <u>の</u> リスク」	表現の変更	(略) <u>削除</u>
(2024年 <u>6</u> 月改訂)		(2024年 <u>2</u> 月改訂)	改訂日の修正 <u>変更</u>